

2/14 食を学んで健康づくり 令和元年度栄養学級修了者に修了証書授与

城辺保健福祉センターで「令和元年度栄養学級修了式」が行われ、受講生8人が修了証書を受け取りました。

栄養学級は、平成16年から行われており、受講生が保健師や栄養士、愛南町食育推進協議会の会員から食を通した健康づくりの基礎知識や、調理技術などを全5回の講話や調理実習で学び、地域の健康づくりに努めてもらうことを目的としています。

この日、最後の講義を終えた受講生は、濱田庄司保健福祉課長から修了証書を受け取りました。

唯一の男性受講生の板垣満男さん(中川)は、「今回の受講で得た知識を活かして、男性の方々にも食生活について考えてもらえるようにがんばっていきたい」と意気込みを語りました。

令和2年度を受講生募集を6月ごろから開始しますので、関心のある方は城辺保健福祉センター(電話：73-7400)にお問い合わせください。



濱田庄司保健福祉課長から修了証書を受け取る受講生の板垣満男さん



実習で調理されたバランスの取れた食事



食事前の口腔体操を実演する会員



おいしそうにぜんざいを食べる同志社大学の野球部員

満足そうに食べていました。 夫人会副会長の中平道代さんは、「今年も選手たちが来て、おいしいと言って食べてくれた。おもてなしをしてくれた」と話しました。

野球合宿の大学生を 夫人会がおもてなし

町内で合宿を行う同志社大学硬式野球部の部員らをねぎらおうと、愛南町連合婦人会の会員が南レク城辺野球場で炊き出しを行いました。

夫人会は町内産の食材を使ったぜんざいとじゃこ飯のおにぎりを振る舞い、部員らは、「おいしい」「温まる」と

2/20



愛媛CATV 動画

GAP 食材を使ったおもてなしコンテスト 南宇和高校農業科が局長賞受賞！

「GAP食材を使ったおもてなしコンテスト」にエントリーし、昨年11月にモザンビークの東京オリンピック・パラリンピック代表候補選手に対しておもてなし活動を実施した南宇和高校農業科の最終結果が発表され、大臣賞に次ぐ「内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局局長賞」を受賞しました。

2年生の田中紘さんは、「今までやってきた活動が世界に届けられた上に、最終審査まで残り、このような賞が取れてうれしい」と感想を述べました。

なお、おもてなしコンテストの詳細は右記のホームページをご覧ください。



コンテスト ホームページ



優秀賞を受賞した広見地域資源保全隊

役場本庁2階で「令和元年度多面的機能発揮促進事業中国農政局局長表彰式」(中国農政局主催)が行われ、広見地域で農地維持活動を行っている広見地域資源保全隊が中国四国農政局長優秀賞を受賞し、代表の大西吉久よしかひさんが表彰状を受け取りました。

広見地域資源保全隊は、農地・農業用施設周辺の維持管理や、地域住民と連携し農用地で花を植栽する景観形成活動などが認められ、今回の受賞となりました。

2/
25

広見地域資源保全隊が優秀賞を受賞



県政発足記念日知事表彰を受賞した青木さん

2月20日(木)に愛媛県庁で「令和元年度愛媛県政発足記念日知事表彰式」が行われ、南宇和森林組合代表理事組合長の青木千之ちゆきさんが農林水産部門で受賞しました。

青木さんは、森林組合で代表理事組合長を務め、10年以上にわたり森林組合の運営と林業の振興発展に尽力したことが認められ、今回の受賞となりました。

青木さんは、「素材生産と森林整備はもとより環境に配慮し、これからも森林を守っていきたい」と話しました。

2/
26

青木千之ちゆきさんが県政発足記念日知事表彰を受賞

2/28 地産地消の日に合わせて 媛っこ地鶏の親子丼が町内の学校給食に登場



愛媛CATV
動画

町では食育を推進するために、毎月第4金曜日を「地産地消の日」と定めています。

この日に合わせて、県が開発したブランド地鶏「媛っこ地鶏」を用いた親子丼が町内の小中学校で提供されました。

家串小学校では、児童が給食の前に地鶏生産者の前田和明かずあきさんから、町内で媛っこ地鶏が飼育されるようになった経緯や他の鶏肉との違い、飼育の苦労などについて話を聞きました。児童は生産者の方に感謝しながら、給食をおいしそうに食べていました。

児童は、「親子丼がおいしかった。このお肉が近くで育てられていることにびっくりした」と感想を述べました。



媛っこ地鶏を使った親子丼をおいしそうに食べる児童



媛っこ地鶏について説明を行う前田さんと教わる児童

2/28 第二次大戦中の潜水艦探知施設「由良衛所」
内海中学校1年生が見学



愛媛CATV
動画

内海中学校1年生9人が由良半島の先端にある由良衛所を見学しました。由良衛所は正式名称を由良崎防備衛所と言い、豊後水道に侵入する潜水艦を探知するために旧日本海軍が設置した軍事施設です。内海村史によると、昭和14年から16年ごろに整備されたと考えられており、第二次世界大戦が終了するまでその役目を果たしていました。

この日の見学は、総合的な学習の時間の地域学習として行われ、町教育委員会生涯学習課の織田浩史ひろふみさんが案内役を務めました。生徒はまず渡船で海から由良半島の先端に上陸し、山道を歩いて各所に点在する聴音室や兵舎、発電室などの遺構を訪れました。

織田さんは当時この施設で任務に当たっていた人から聞いた話を交えながら、三交代で24時間絶え間なく聴音作業が行われていたことや、終戦間際に砲台が4カ所設置された際には最大で300人ほどの兵士がいたことなどを説明すると、生徒は熱心に耳を傾けていました。

参加した生徒は、「衛所には初めて来たが、兵舎の建物が地面に見えるようにカモフラージュしているところが印象に残った」と話し、また他の生徒からは、「由良半島にこのような施設があって驚いた。特に聴音室が印象に残った。今日学んだことを家族にも話したい」と感想を述べました。



講師の織田さんから説明を受ける内海中の生徒ら



聴音作業が行われていた建物跡などを見学



吉本浩校長から卒業証書を受け取る一本松中の卒業生

3年生24人が式典に臨んだ一本松中学校では、保護者と教職員が見守る中、卒業生に対して卒業証書の授与などが行われました。

式典の後半では、卒業生ひとりひとりがお世話になった家族や恩師、友人らへの感謝の言葉を述べ、中学校生活を振り返るとともに、4月から始まる新たな生活への期待を胸に学び舎を後にしました。

3/17
町内の中学校で卒業式
455人が門出の日

3/17



愛媛CATV
動画

町内の5つの中学校で卒業式があり、455人の生徒が門出の日を迎えました。

石垣の里「だんだん雑祭り」開催中(5月10日(日)まで)

※今年に限り5月10日まで
(例年は4月上旬まで)

季節風や台風などから民家を守るための石垣が整然と積み上げられ、石垣の里として知られる外泊地区で「だんだん雑祭り」が開催されています。

休憩所「だんだん館」下の空き地には、地元の保育所園児や小中学生、団体職員らが描いた色とりどりの石びなが数多く展示されています。

主催した外泊いしがき守ろう会の吉田清一会長によると、少子化などで展示作品は減少傾向にあるそうですが、「作品を出してくれる人がいるのであれば、小規模ながらも続けていきたい」と意欲を見せていました。



2/22 第12回愛南町スポーツ少年大会 バレーボール競技

一本松交流促進センターで「第12回愛南町スポーツ少年大会・バレーボール競技」が行われました。1部に4チーム、2部に3チームが出場し、選手は声を掛け合いながら、はつらつとしたプレーを披露しました。

▶大会結果

〔1部〕

優勝 立間・柏 JVC

準優勝 すくもジュニアバレーボールクラブ A

〔2部〕

優勝 すくもジュニアバレーボールクラブ B

準優勝 一本松バレーボールクラブ B



1部優勝 立間・柏 JVC



2部準優勝 一本松バレーボールクラブ B

2/26 令和元年度愛南町スポーツ協会表彰式

御荘文化センターで「令和元年度愛南町スポーツ協会表彰式」が開催され、スポーツの各種目において優秀な成績を収めた個人17人・団体2団体の計29人が表彰を受けました。

この表彰は、町のスポーツ活動の発展に資することを目的として平成20年度から行われているもので、受賞者に対して町スポーツ協会会長の齋藤武俊たけとしさんから表彰状と記念品が授与されました。

スポーツ功労賞を受賞した前愛南町体育協会会長の清家権一けんいちさんは、「このような賞を頂き本当にありがとうございます。これからもスポーツ協会の発展のために協力していきます」と話しました。



愛媛CATV
動画